

学習成果発表会本番の合唱コンクールに向けて ～第2回合唱リハーサルを終えて～

来週の10月19日(火)の学習成果発表会の中で行われる合唱コンクールに向けて、13日(火)の1校時に第2回合唱リハーサルが行われました。前回の第1回では様々な課題が浮き彫りになりました。

- ①自信のなさから声が出ていない
- ②体を指揮者に向けず、指揮者を見ずに歌っている人が多く目立っていた
- ③入場の際に下を向いたり、横の人と話したりしていた人もいた
- ④合唱の最中にニヤニヤ笑っている人もいた・・・等

今回の第2回リハーサルでは、前回の課題をはじめに秋山先生から確認していただき、みんなも前回のリハーサルとは明らかに違う雰囲気でも臨んでいるのがよくわかりました。確認した改善点を意識してステージに立っている姿が多く見られ、前回より大きく改善できていました。



2年2組の合唱の様子

①について

前回の倍ぐらいの声が出るようになってきました。その分、出だしの自信のなさが目立ちます。最初の言葉を大きくはっきり自信をもって出せるようにしましょう。



2-2指揮者 山下さん

②について

今日は全員指揮者に体を向けて、指揮者を見ながら歌うことができていました。下を向いてうたっている人もほぼいませんでした。かなりの前進です。

③について

入場時に下を向く人、横を向く人はまだいます。隣との感覚は、足下のテープで示されていますので、テープの位置に立ったら動かず、まっすぐに顔を上げてみんなが整列するのを待ちましょう。待っている間に、手を組んだり、顔や頭(髪の毛)を触ったりする人も数名いました。ものすごく目立ちますので、手を動かさず体側に手を置いて、静かに待ちましょう。

④について

合唱中の態度は、素晴らしかったです。だれもニヤニヤせず、真剣に取り組んでいました。本番に向けて、練習中から真剣に取り組んでいきましょう。



2-2ピアノ伴奏者 守屋さん

残りの1週間で、各学級で取り組んでほしいこと

(1) 歌詞をよく読んで、歌詞の世界観を深く理解し、どんな思いをどう表現したら良いのかを考え、リーダーの人たちが中心となって指導し、大切なポイントをいくつか重点的に練習していきましょう。そのための話し合いをリーダー会で十分行ってください。



(2) 恥ずかしさを乗り越え、みんなで合唱を創造する楽しさを体験してほしいと先生たちは思います。その時その時をみんなで全力を出し切って歌う経験を積み重ねていきましょう。自分たち自身が感動できる歌を歌い上げることができれば、必ず聞いてくれる人も感動してくれます。

来週の本番での合唱に向けて、残りの1週間、精一杯がんばっていきましょう!

来年、リーダー学年になる2年生へ 今年の合唱コンクールの位置づけ・・・



南中には全校合唱、チーム合唱、学級合唱という3つの伝統があります。過去の先輩方が築いてきた南中の文化の代表ともなる取組です。この伝統を絶やしてはならない・・・という3年生の先輩方の思いや先生方の思いで、感染症対策を取りながら練習方法を考え、合唱の取組を継続して行っています。来年はいよいよ3年生というリーダー学年になっていきます。だからこそ、今年の合唱コンクールは昨年1年生だったときの取組とは全然

重みが違っていると思います。今年はリーダー学年に向けて、中堅学年として3年生を支え、1年生を引っ張ることができる学年に成長していくことが必要です。チーム練習のとき、しっかり3年生を支えられていますか? 1年生を引っ張られていますか? 今年3年生がリーダーをしてチーム練習を運営してくれていると思いますが、来年は自分たちがやるということを念頭に置いて、リーダーの動きや、どんなことを話しているのかをよく見たり聞いたりしておくことが必要です。そして、先輩方のいいところはどんどん吸収し、練習に参加しておくことも必要です。課題があるのなら、自分だったらどうするかと言うことを考えておくことも必要でしょう。今年は来年に向けての準備を整えるという意味でとても大切な取組になります。自分の学級や学年に誇りをもち、南中文化の伝統を守り、発展させる「力と熱と誇り」のある学年になっていけるように、今年を取組を精一杯がんばって中堅学年としての力を付けていきましょう。



熱くなれ! 2年生!!